

問 バリアフリー

中学校は、スロープ・手すりが一部にあります。段差が多くバリアフリーではありません。小中学校や公共施設にスロープ、エレベーターを設置し、バリアフリー化をお願いできないでしょうか。

答 中学校では、東側昇降口のスロープ設置や階段に手すりを設置するバリアフリー化を進めてきました。小中学校にエレベーターを設置するのは、場所の問題や費用が多額になるなどで難しいと考えます。公共施設のバリアフリー化で役場新庁舎は、車いす利用者の出入口段差解消、スロープの設置などを計画。長年の要望が実を結び、阿久比駅にエレベーターが設置される予定です。

問 体育館の安全設備

中学校の体育館は避難所になっていますが、地震が起こった場合、天井の落下などの可能性があります。安全点検や補修工事が必要ではないでしょうか。体育館の放送設備が不良で連絡が円滑に伝わらないため、新しいものに替えていただけませんか。夜間開放時に必要になったときのため、体育館にAEDの設置をお願いします。

答 小中学校の校舎と体育館の耐震化は完了していますが、大地震や劣化などで体育館やホールの天井材の落下事故が近年起きていることから、天井材やバスケットゴール・照明などについて、問題が無いかを調査し対策を検討します。放送設備は、不具合などで改善が必要と判断した場合は、できるだけ早い対応をします。AEDは、設置する場合の費用・方法などについて、研究していきたいと考えています。



町長総括

今議会は、安全面に関する質問が多かったことが特徴でした。安全面については、十分な施策を行ってききましたが、まだ不安な部分をなくす必要があると感じました。まちが安全になれば心に安心が生まれ、まちを良くして行こうという気持ちになります。自分の住んでいるまちを良くするには、町民の心をつにし、みんなと一緒に知恵や汗を出し協力することが、小さな阿久比町にとって一番の力になるところです。将来を担うあなたたちが立派な大人になって、地域社会で活躍されることを心から祈っています。



まちづくりに関する私たちの誓い

私たちの町、阿久比町は町制60周年をむかえ、今もさらに発展し続けています。

阿久比町にはホテルをはじめ、豊かな自然や、菊づくり、山車祭りなどの誇れる伝統があります。このすばらしい自然と伝統を守りつつ、更に発展させていきたいと思えます。そのためにはまず、将来を担う私たち子どもが、今できることを皆で協力して行う必要があります。

地域の行事、町全体で行われるボランティア活動への参加や、住みよい環境づくりなど、私たち子どもにできることはたくさんあります。

これらのことを通して阿久比をよりよく、そして誰からも愛される町にしていくことを誓い、次のことを宣言します。

- ボランティア活動や清掃活動に進んで参加し、私たちの手でこの町を住みやすく、きれいな町にします。
- 周りの仲間や友達との絆を大切にし、思いやりの心があふれる町をつくりまします。
- 笑顔あふれる町にするために、私たちが率先してオアシス運動を推進します。
- 豊かな自然と伝統を大切にし、次世代の阿久比町をしっかりと受け継いでいく努力をします。

平成25年12月25日
町制60周年記念阿久比町子ども議会